



「宴」もてなし館を彩るホイノポリ

# ホイノポリ 日野祭囃子 日野の特産品を 全国に発信!!

「'09食博覧会・大阪」で  
日野町を宣伝

4月30日(木)から5月10日(日)まで、インテックス大阪で「'09食博覧会・大阪」が開催され、南山王日枝神社に奉納される22町内のうちの13町内の方が製作されたホイノポリが「宴」もてなし館を華やかに彩りました。大阪市内からお越しの方は、「とても華やかです」と話され、多くの方が写真を撮るために立ち止まっておられました。

5月5日(祝)には、日野祭囃子の演奏も行われました。

ご当地グルメが集まった故郷にぎわい館では、日野の特産品が販売され、「日野町を初めて知りました」とお土産を買われる方もおられました。

日野町を全国に宣伝する絶好の機会となりました。



「日野祭山祭囃子方交流会」の演奏の様子



▲ホイノポリの下で立ち止まる方に、地域の方が説明をされました



▲ピンク色と、特別に製作されたオレンジ色・水色・紫色のホイノポリが、会場の展示ときれいに融合していました



▲ホイノポリの飾られた会場は、日野祭囃子を聞くために集まった多くの方で埋め尽くされました



▲丁稚ようかんやひの菜ちゃん、ほいざるなど、日野の特産品販売コーナーは多くの方でにぎわいました

# キラリ人

'09食博覧会で  
日野祭囃子を  
披露された皆さん



▲ふるさとステージで最後の演奏の後、舞台上がられた皆さん

かつては、日野祭にも数十本のホイノポリが奉納されていたと言われていました。ホイノポリのもとで響き渡る日野祭囃子。その光景が、5月5日(祝)、「'09食博覧会・大阪」で復活しました。出演された皆さんに、お話を聞きました。

「日野祭曳山囃子方交流会」の16名(現在の会員数26名)と、日野小学校「お囃子クラブ」の13名が、ホイノポリの飾られた「宴」もてなし館のメインステージと故郷にぎわい館のふるさとステージで日野祭囃子を披露され、日野町を全国の方に知っていただく素晴らしい機会となりました。

「日野祭曳山囃子方交流会」は、口伝で伝承されている祭囃子を後世に残すため、2007年6月に結成。各町内では独自の祭囃子を演奏されるため、いろいろな町内から集まった交流会では、祭囃子の調子を合わせるのが大変難しいそうです。それぞれの調子を尊重し合い、交流会独自の祭囃子を考えておられます。「今まで横(各町内)の交流がなかったので」と、皆さん

の交流の場にもなっています。

日野小学校「お囃子クラブ」は、「日野祭曳山囃子方交流会」の中村幸太郎会長が月3回指導をされています。今回は、この春に卒業した中学1年生と、5・6年生が出演されました。

今回の出演が決まり、「日野祭囃子を紹介する絶好のチャンス」と楽しみに練習に励まれ、合同練習は4回行われました。

当日は、最初に日野小学校「お囃子クラブ」が「ばか囃子」を、続いて、「日野祭曳山囃子方交流会」が、「ばか囃子」、「屋台」、「大間」、「桜囃子」、「法界坊」を披露。会場からは手拍子が沸き起こりました。大阪市にお住まいの方は、「こんなに本格的な祭囃子を見たのは初めてです。ずっと残していつてほしいです」。また、以前日野に住んでいたという93歳の方は、車椅子に乗りながら祭囃子のリズムに合わせて手拍子を打たれていました。「ご家族の方は「日野祭囃子を演奏される」ということで聞かれました」と話されました。

出演された方に演奏後の感想をお聞きすると、「楽しかった!」「人前でするのは緊張したけど、



▲日野小学校「お囃子クラブ」の演奏の様子

2、3回目は楽しみでした」「また出演してみたいです」と子どもたち。「いろいろな人に聞いてもらえてよかった」「曳山の上とは違うなんともいえない緊張感がありました」「立ち止まって聞いてもらえて嬉しかった」「日野の人が来てくれてはったことも嬉しい」と、交流会の皆さん。

帰りのバスの中でも、曲を伝え合う皆さんの美しい笛の音色が響き渡りました。

日野祭が好き、祭囃子が好きという思いでつながる皆さん。大人の熟練の技を未来を担う子どもたちに伝承する機会にもなりました。